

質疑・回答書

告示番号	186号	豊中市立島田小学校仮設校舎建設工事	
No	質疑事項	回 答	
1	特-1土工事の欄に山留の設置、親杭横矢板工法と記載されていますが、範囲の図示がありません。不要と考えてもよろしいでしょうか。	特-1「特記仕様書(1) 新設(増築)工事編」の「3章 土工事」に記載している「山留めの設置」の親杭横矢板工法の範囲は、T-4「共通 解体撤去図(2) 1階平面図」に記載の隣地境界線に近接する、④-1棟の4X1通り・4Y4通り廻りの地中部分の解体工事時において、L型平面状(4.8m+4.8m程度)に設置とします。 参考山留めサイズは、親杭H-200x100x5.5x8ピッチ1200、横矢板厚さ30mm、根入れ長4.3m程度とします。	
2	仮設計画図に記載されている設備迂回に伴う復旧工事が建築工事となっていますが、仕様と範囲等の詳細のご指示をお願いいたします。	K-1B「工事計画図(1B) 工程①b H29年度-(1b) (参考図)」からK-1D「工事計画図(1D) 工程①d H29年度-(1d) (参考図)」までに記載の、電気設備迂回埋設配管ルート及び給水・消火設備迂回埋設配管ルートに示す部分が、建築工事にて復旧する範囲です。 復旧内容は、アスファルト舗装①29.8㎡、アスファルト舗装③12.9㎡の仕上、点字ブロック15.0㎡、コンクリート舗装②11.7㎡、コンクリート舗装③45.3㎡、縁石④3.9㎡、インターロッキングブロック舗装27.6㎡、砂利敷厚さ50 11.5㎡、マサ土厚さ100、36.3㎡が該当し、仕様等の詳細はT-402「屋外整備 外構撤去詳細図(1)」を参照とします。	
3	上記に伴う、養生・撤去・掘削・埋戻しは各設備業者の工事範囲と考えてよろしいでしょうか。	上記に伴う、養生・撤去・掘削・埋戻しは各設備業者の工事範囲とします。	

豊中市総務部契約検査課 TEL 06-6858-2075・2076
 FAX 06-6858-7225
 E-mail keiyaku-kouji@city.toyonaka.osaka.jp